

日本語指導 ワークショップ

井上 恵子

1. ねらい

児童生徒の発達段階と日本語力に応じた「日本語指導略案」を作成する。

2. グループ及び課題

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
A	初期指導	小学生 低学年	にほんごを まなぼう 20課「えをかこう」
B	中級指導	小学生 中学年	ひろこさんのたのしいにほんご 2 71課「自転車で行けば速いです。」
C	教科学習に向けて 国語科	小学生 低学年	教育出版 1年 「はたらく じどうしゃ」
D	教科学習に向けて 社会科	小学生 中学年	東京書籍 3・4年 「ごみのしゅりと利用」
E	教科学習に向けて 算数科	小学生 高学年	啓林館 6年 「対称な図形」
F	教科学習に向けて 理科	小学生 高学年	大日本図書 5年 「台風と天気の変化」
G	初期指導	中学生	JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE 13課「バスでがっこうへいきます。」
H	教科学習に向けて 国語科	中学生	教育出版 1年 「私の好きな春の言葉」
I	教科学習に向けて 数学科	中学生	啓林館 1年 「反比例」

3. ワークショップの進め方

時間	活動内容
11:40~12:00	1. ワークショップの進め方についての説明を聞く。 ・ねらい ・グループ分け ・課題 ・時間配分 ・指導略案の作成方法及び留意点 ・発表方法 ・パソコン
13:00~14:45	1. グループに分かれて、課題についての指導略案を作成する。 (パソコンの「指導略案の形式」に書き入れる)

	2. 発表の準備をする。
14:45～16:15	1. グループ発表をする。 6分×9グループ（講評）

4. 指導略案作成上の留意点

- (1) 指導時間は小学校45分、中学校50分とする。
- (2) なるべく、4技能（聞く・話す・読む・書く）を入れる。
- (3) 過程の欄の（ ）に時配を入れる。
- (4) 必要に応じて、日本語力に合わせて「リライト教材」を作成する。
- (5) 必要に応じて、補助資料として「翻訳教材」を活用する。
- (6) 必要に応じて、補助者との連携を図り、補助内容を明記する。
- (7) より分かりやすく、そして楽しく指導するための「教材・教具」を作成し、提示の仕方等、工夫する。

5. 準備するもの

- (1) パソコン・・・・・・・・・・9台
- (2) リムーバルディスク・・・・・・・・9本
- (3) プロジェクター
- (4) OHC
- (5) 文具等
 - 模造紙・・・・・・・・・・10枚
 - 折り紙・・・・・・・・・・9袋
 - 色画用紙（白も含）・・・・9冊
 - 板目表紙・・・・・・・・・・20枚
 - マーカー・・・・・・・・・・9セット
 - 色鉛筆（クーピー）・・・・9セット
 - 割り箸・・・・・・・・・・1袋
 - 上質紙・・・・・・・・・・1シメ

日本語指導略案

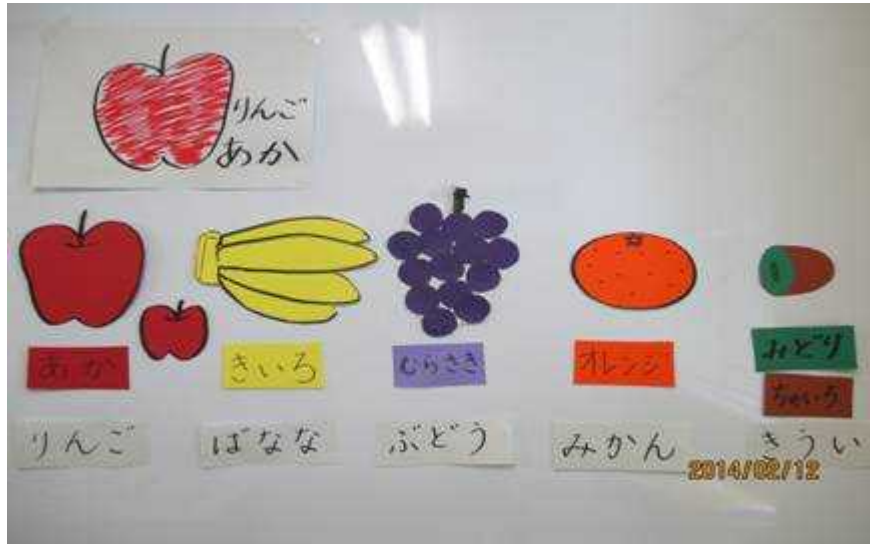
グループ	日本語力	対象	教材及び課題
A	初期指導	小学生 低学年	にほんごをまなぼう 20課「えをかこう」

1. 目標 果物の名前や色を正しく言うことができる。
果物の名前を読んだり、書いたりすることができる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	<p>1 始めのあいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> これから日本語のお勉強をします。 今日は、○月○日○曜日 天気は○○です。 <p>2 パズルゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 3人の友達の名前の文字をパズルから抜き出し、自分の名前を正しく並べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童だけでは言えないので、一緒に言う。 ひらがなが読めない児童は、1文字ずつ確かめながら並べさせる。 	名前の文字カード
展開 (35)	<p>3 これなあとにゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 果物の名前と色を組み合わせる。 <p><例> これは何色ですか：赤 →あかの文字を提示 何かな（ズーム）：りんご →りんごの文字を提示 りんご・・・あか ばなな・・・きいろ ぶどう・・・むらさき みかん・・・だいたい・おれんじ きうい・・・みどり</p> <p>4 果物の絵を描く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きな果物を描く。 りんご、ばなな、ぶどう、みかん、きうい 名前を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字が読めなくても絵を頼りに文字を読もうとするのを支援する。 大きいりんごと小さいりんごの絵を見せて、「大きい」「小さい」という語彙も理解させる。 鉛筆で果物の絵を線描きし、色をぬらせる。 うまく書けない児童には、なぞり書きを 	果物の絵文字カード カード

		させる。	
終末 (5)	5 描いた果物の名前と色を発表する。 6 終わりのあいさつをする。	・正しく発音できたら 賞賛する。	児童の作品



日本語指導略案

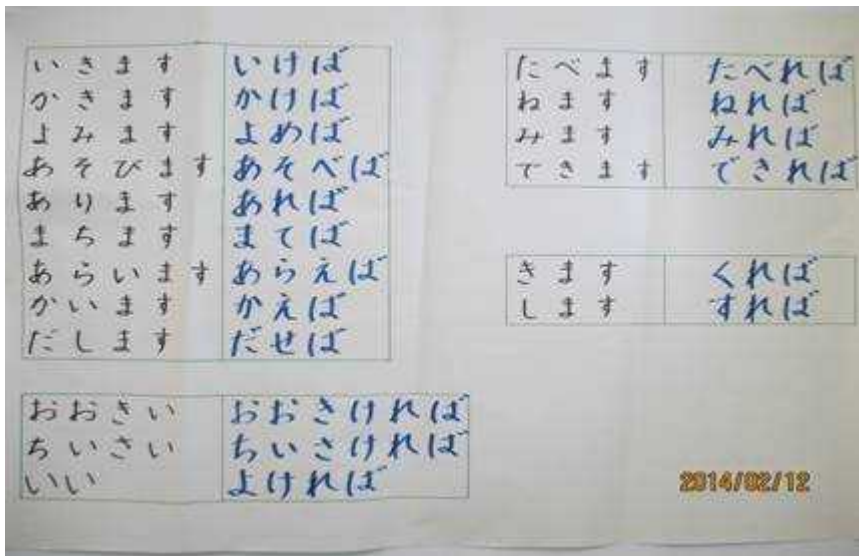
グループ	日本語力	対象	教材及び課題
B	中級指導	小学生 中学年	ひろこさんのたのしいにほんご2 71課「自転車で行けば速いです。」

1. 目標 「～ば」のつく言葉の活用方法を理解することができる。
2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	1 あいさつ、今日の日付などを言う。 ・カレンダーの今日の日付のところにシールを貼り、言い方の確認をし、発音の練習をする。 2 「詩集」の音読をする。	・黒板に書かれた日付などを読ませる。 ・日付の特別な読み方について、必要に応じて手本を見せ、できるだけ声に出させるようにする。	カレンダーシール 詩集
展開 (37)	3 本時の学習内容を知る。 「〇〇したら、△△になった。」という場面を想起する。	・「手を洗えば、きれいになります。」ということについて絵やカードを使って説明。 ・未習の漢字カードを	汚れた手ときれいな手の絵 「ば」と書かれたカード

	<p>4 本時の学習問題を声に出して読む。</p>	<p>見せ、(漢字だと読めないけど)「絵を見ればわかります。」と言ってその意味の絵を見せる。</p>	<p>未習の漢字カードと絵</p>
	<p>「〇〇すれば、△△になります。」の言い方をおぼえよう。</p> <p>5 本文を音読する。</p> <p>6 「～ば」が使われている文を見つける。</p> <p>7 スーパーでの買い物の時の経験などを想起して、「～ば」の活用を取り入れた文を作り、ノートに書く。</p> <p><例> 「スーパーに行けば、ノートが買えます。」 「お金を出せば、お菓子が買えます。」</p> <p>8 本文の活用の表を声に出して読み、その中の言葉を使って文を考えたり、言い方を練習したりする。</p>	<p>・意味のわからない語句があれば説明する。</p> <p>・児童が思い出しやすいように、会話で導く。</p> <p>・難しいようであれば、教師が例文を示し、声に出して発音させる。</p>	<p>活用の表 ペープサート</p>
<p>終末 (3)</p>	<p>9 本時で学習した内容の確認、振り返りをする。</p> <p>10 本時の学習の感想を教師に伝える。</p> <p>11 次時の学習について知る。</p> <p>12 終わりのあいさつをする。</p>	<p>・板書や本文の資料を見ながら振り返りさせる。</p> <p>・次時は様々な活用形について学習することを伝える。</p> <p>・はっきりとした発音</p>	

		で言わせる。	
--	--	--------	--



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
C	教科学習に向けて 国語科	小学生 低学年	「はたらくじどう車」

1. 目標 バスのはたらきとつくりについて、読み取ることができる。
2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
----	------	-------	-------

つくり	はたらき	バス	はたらくじどうしゃ ①

日本語指導略案

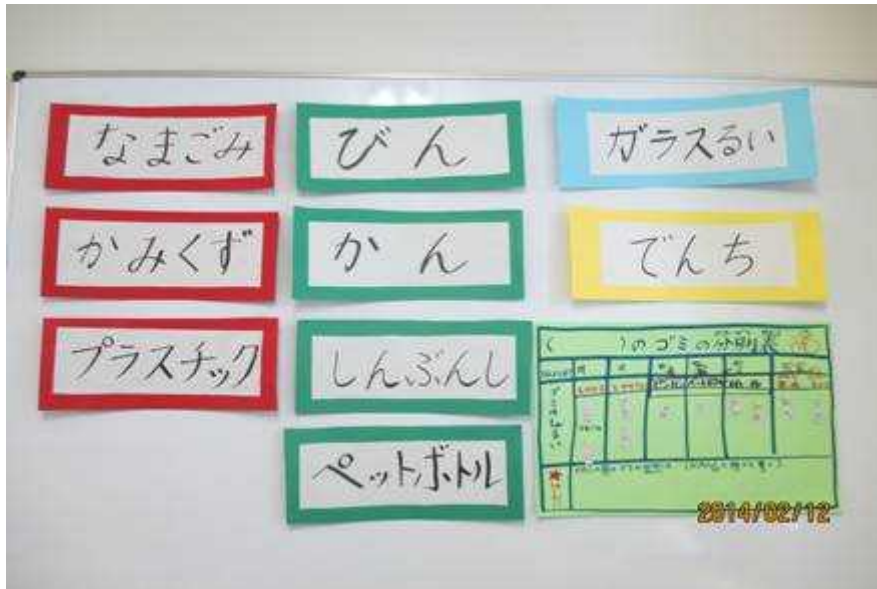
グループ	日本語力	対象	教材及び課題
D	教科学習に向けて 社会科	小学生 中学年	「ごみの処理と利用」

1. 目標 ごみの種類を分別することができる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	1 絵カードにかかれたごみの名前を言う。 2 絵カードに名前カードをつける。	・日ごろ、ごみとして捨てているものの名前を確認させる。	絵カード 名前カード
展開 (25)	3 学習問題を知る 「ごみのなかまわけをしよう」 4 自分なりの分け方で、分別をする。 5 仲間わけをした理由を説明する。	・一人ひとりの分け方を記録しておく。 ・理由が言えるように、キーワードを教	

	<p>6 ごみ袋やかごの写真を見て、名前を確認する。</p> <p>7 「分別」という言葉を知る。</p> <p>8 ごみの絵カードを、分別シートに入れる。</p>	<p>える</p> <p>・確認しながら、ごみを分別する。</p>	<p>ごみ袋やかごの写真</p> <p>分別シート</p>
<p>終末 (10)</p>	<p>9 シートに、ごみの名前と収集する曜日を記入する。</p> <p>10 母国のごみの捨て方について調べてくる(宿題)</p>		<p>市町村の収集一覧表</p>



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
E	教科学習に向けて 算数科	小学生 高学年	「対称な図形」

1. 目標 具体的操作を通して、線対称に関する言葉を覚えることができる。
2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
<p>導入 (5)</p>	<p>1 3つの形を見て、形を確認する。</p> <p>・これは何ですか。</p>	<p>・子どもにとって身近な形を、3色で提示する。</p>	<p>形の色画用紙</p>

	<p>ちょうちょ ハート M</p> <p>2 本時のめあてをつかむ</p>		
<p>展開 (35)</p>	<p>3つの形のきまりを見つけよう。</p> <p>3 3つの形を切る。</p> <p>4 きまりを見つける。</p> <p>5 形を半分に折る。</p> <p>6 学習用語を知る。 「重なる」「線対称」「対称である」「対称の軸」</p>	<p>・なかなか見つからないときは、折ったり線を引いたりするように助言する。</p> <p>・「ぴったり」「重なる」などの言葉も、作業しながら、確認させる。</p> <p>・動作をしながら、用語を声に出して覚えさせる。</p>	<p>形の画用紙 はさみ</p> <p>短冊</p>
<p>終末 (5)</p>	<p>7 身の回りにある、線対称のものを見つける。 眼鏡 双眼鏡 開いたノート</p>	<p>・教室にあるものを示してヒントを出す。</p> <p>・見つけれたらほめる。</p>	



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
F	教科学習に向けて 理科	小学生 高学年	「台風と天気の変化」

1. 目標 台風について興味関心を持ち、調べていこうとする。
資料をみて、台風の動きと天気の変化を捉えることができる。
台風の動きや天気の変わり方を、日本語で表すことができる。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	1 台風の経験を思い出す。 ・映像を見て、気付いたことを話す。 ・母国や日本での経験を話す。	・台風の状況を想起させる。 ・既習の「天気は西から東に変わる」を想起させ、台風の動きも予想できないだろうかと投げかける。	台風の映像
展開 (35)	2 学習問題をつかむ。 台風はどのように動き、天気はどう変わるのだろうか。 3 雲の動きを調べる。 ・雲の衛星画像を見て、気付いたことを話す。 ・台風のペープサートを使って、動きを確認する。 ・台風の動きを文章化する。 4 天気の変化を調べる。 ・降雨量図を見て、雨の降り方を調べる。	・地図上の方角を確認する。 ・「中心付近」等の言葉の意味を補足しながら進める。 ・台風が南から北へ向かって動くことを捉えさせる。 ・「(方角) から (方角) へ」を使って文章化させる。 ・台風が近づくと雨がたくさん降るのではないかと、予想させる。 ・「～と、～(に) なる。」の文型で表すとよいことに気付かせる。	雲の衛星画像 日本列島の地図 台風のペープサート アメダスの降雨量図
終末 (5)	5 まとめる。 台風は南から北の方へ動き、台風が近づくと、雨が強くなる。	・進路予想できそうなことを伝え、次時につなげる。	



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
G	初期指導	中学生	JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE 「バスでがっこうへいきます。」

1. 目標 「だれが」、「なんで（どうやって）」を正しく使うことができる

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	<p>1 あいさつをする。 ・日付 天気など</p> <p>2 前時の復習をする。 ・交通手段の文の音読 ・絵を見ながら文章を作ることができるか。 「バード君は～で～へ行きます。」 「バード君は～で～へ行きません。」</p>	<p>・ランダムに番号を選ぶが、「～で」が入った文章は必ず入れるようにする。</p>	
展開 (30)	<p>3 過去形の復習をする。 ～しました。</p> <p>4 疑問文の復習をする。 ～しました+「か」を語尾につける。</p>	<p>・色や絵、振り仮名のついたカードを使いながら、生徒と対話しながら答えさせる。</p>	SUMMARY TABLE カード

	<p>5 カードで、「だれが」、「どこへ」、「いきました」の練習をする。 <例> 「だれが山へいきましたか。」 「かとうくんがいきました。」</p> <p>6 疑問文あみだくじ(だれが、なんで(どうやって))をしながら、読んで疑問文に答えていく。 だれが→人の名前を答える なんで→ものの名前を答える</p>	<p>・理解していない場合にはカードを使いながらヒントを出す。</p>	
<p>終末 (10)</p>	<p>7 「だれが」「なんで」「(どうやって)」を用いた疑問文に答える。</p> <p>8 疑問文を作り、読み、書きをする。</p>	<p>・簡単な質問から行い、書くことに繋げる。</p>	



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
H	教科学習に向けて 国語科	中学生	「私の好きな春の言葉」

1. 目標 天候と天候に関わる言葉について知る

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	1 あいさつをする。 2 天候について知っている言葉を考え、カードに書かせる。 3 カードを分類する ・季節ごとに分ける。 春 夏 秋 冬 ・季節以外の分け方はないか考える。	・自分の母語ではどういうのかも考えさせる。 ・カードの用意（天候やそれに関わる言葉）例えば「雨」「風」「花」など	カード カード 模造紙
展開 (35)	4 音読する。 5 春の季節に関わる言葉を知る。 花曇り 菜種梅雨 6 筆者の気持ちを読み取る。	・つまずいたところを確認する。 ・曇りや梅雨はいやだと思えるかもしれないが、良さも感じ取らせるよう促す。	
終末 (10)	7 音読する。	・日本語の響きを感じさせながら読ませるようにする。	



日本語指導略案

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
I	教科学習に向けて 数学科	中学生	反比例

1. 目標 反比例の概念、規則性について理解する。

2. 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	<p>1 あいさつをし、本時の目標を知る。</p> <p>2 用語の確認をする。 (面積、反比例など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各言語で用語を説明する。 ・言葉で理解できない場合、イラストで確認させる。 	各言語での用語集
展開 (35)	<p>3 面積が6平方cmの四角形を作る・・・①</p> <p>4 作った四角形をもとに縦横の関係を表にする。</p> <p>5 表から式を考えさせる。</p> <p>6 面積を変えて関係式、表をつくる・・・②</p> <p>7 ①の表から反比例の規則性を考えさせる。</p> <p>8 ②の表でも規則性が当てはまることを確認させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四角形を一緒に作る。 ・生徒の進行状況に応じて助言する。 ・①で生徒が気づけない場合、教師が示す。 ・②では状況に応じて助言する。 	<p>ブロック板</p> <p>関係式表</p>
終末 (10)	<p>9 反比例の規則性を説明する。</p> <p>10 あいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例を挙げて、規則性を説明する。 	

x	1	2	3	4	5	6
y	6	3	2	1.5	1.2	1
面積	6	6	6	6	6	6

(6)

(6)(6)

6/6 6/6 6/6

x	1	2	3	4	10	11	12
y							
面積	12	12	12	12		12	12

正方形 square

面積 Area

長方形 rectangle

函數 a function

反比例 inverse proportion

比例定數 a fixed number